SHONAN VISION

Social Magazine

Vol.18
2019.02

山から海へ…
いざ進め、
湘南の金太郎!

Take Free

山から海へ…いざ進め、湘南の金太郎!!

文・関水裕子　郷渡美夏

守屋佑一という男

藤沢駅を発車し、馴染みのある浜辺の歌、希望の轍、たなばたさまを後に、朧月夜を聞く頃には風はより緑に、海はより深く青くなる。目的地はお猿のかごや、JR小田原駅だ。藤沢から約30分の電車の旅だが、改札口にある小田原と書かれた大提灯に旅行気分が高まる。

取材を依頼した際どこかお気に入りの場所は?と聞いたところ、彼はこう言った。「小田原駅の北条早雲像で待ち合わせをお願いします。金時山に登りましょう。」彼の名前は守屋佑一、1988年生まれの30歳だ。彼にはいろいろな顔がある。

あるときは軽トラを運転し、様々な種類のみかんや神奈川県農業技術センターが開発した幻のみかん“湘南ゴールド”の栽培や、小田原市の体験型ふるさと納税としてみかん収穫を企画、またある時は家業である飲料問屋、森永牛乳小田原販売株式会社を親会社とした株式会社UMEMARU Inc.を設立し、湘南ゴールドの果汁を使ったエナジードリンク“湘南ゴールドエナジー”の企画販売を通して農業6次産業に取り組み、またあ

る時は趣味でもあるランニングのイベントを開催、更には地元新聞社やインターネットメディアのライターを務めるなど、数え上げればきりがないほど、多彩な顔を持つ男である。

私が彼に初めて出会ったのは2年前の冬、小田原にある海が見える彼の農園でのみかんの収穫体験だった。冬の澄み切った青空にみかんのオレンジ、木々の緑、そして海のブルー。小田原は日本におけるみかん栽培の北限だそうで、西のみかんに比べて甘さは控えめで酸味があるという。まさに好みのタイプ。

この時私は海も山もあり気軽に行ける観光地小田原、そして守屋佑一のファンとなった。彼の話をもっと聞いてみたい…。これが今回の取材のきっかけだった。

雪の金時山登山

躍動感溢れる北条早雲像の前にオレンジ色の車が停まる。みかん農家を営む彼らしい車だが、「フットサル大会で優勝した時の景品。」だそうだ。

「金時山には登山ルートがいくつかあるんですが、今回は南側の金時神社ルートを行きましょう。大体80分くらいで初心者でも登りやすいですよ。」

小田原駅から湯本を通り御殿場に抜ける街道を進む途中、箱根駅伝のルートを通る。

ここが小田原中継所だね。あ、そういえば母校優勝おめでとう!「ありがとうございます。この辺りも例えば中継所に記念碑を置いて歴代のタイムを刻むとか、箱根駅伝色をもっと出して行けば観光客も面白いんじゃないかと思うんですよね。この周辺が駅伝で盛り上がるのって本当にその時期だけなんです。折角全国区のイベントなのにもったいないですよね。2024年には第100回大会を迎えるので、何か仕掛ける事が出来れば楽しいですよね。」

いろんな顔を持つ男だけあって、常にいろんな事を考えている。小中高と野球少年。大学では母校の野球部のコーチを務めた経験もあるそう。しかし高校3年の7月に野球部を引退した後、あと1人いれば大会に出場出来るから、と陸上部の顧問に頼まれた事をきっかけに走る事に目覚める。

これが現在では趣味と湘南ゴールドエナジーの販促という実益を兼ねたイベントの開催などに繋がっているようだ。

小田原駅では晴れていた空が金時神社につく頃には小雨が…。せっかくここまで来たし、ええ…がんばって登りましょう。

彼が2014年頃から始めた金時山登山は今回で通算73回目（2019年1月15日現在）。山頂の金時茶屋には登山回数を記入するメモ帳があって、100回登ると茶屋の中に名前入りの札を飾ってくれるそうで、中には登頂5000回以上のツワモノもいるらしい。そんな中彼は今年中に100回を目指すと言う。いくら気軽に登れる山とは言え、よくそんな時間があるものだ。

不思議に思って聞いてみると「湘南の海の方の人って、朝出勤前にサーフィンしたりするじゃないですか。あれと同じ感覚です。普段は足柄口の登山道から登るのですが大体45分位で登頂できます。後は1人でゆっくり考え事をしたい時、頭をすっきりさせたい時、こうしてミーティングを兼ねたり、初めて人とお会いする時や誰かを紹介して頂く時にも利用する事が多いです。カフェで話をするよりも同じ時間ならこうして一緒に歩いた方がその人がよくわかりますから。」

登山口にある金時神社でお参りを済ませいざ金時山。少しスタートが遅かったのか、下山してくる人と次々にすれ違う。「金時山は本当に身近な山なんです。今日は少し天気が良くないけど、晴れていると芦ノ湖や大涌谷からの噴煙、眼下には箱根の町がきれいに見えますよ。頂上では富士山も見えます。」

登山道の途中には金時が母と夜露を凌いだと言われる"金時宿り石"という真っ二つに割れた巨大な岩があり、その岩からは勢いよく木々が伸びている。「すごい生命力ですよね。ここにくるとなんだかパワーを貰える気がします。」がっちりした体格に黒目がちの目…。

私の中で彼と金太郎のイメージが重なってくる。

山頂に近づくにつれ雨に白いものが混じり始めた。雪だ！滑らないように慎重に足を進める。

「頂上の茶屋、閉まっているかもしれないですね。」実はこの金時茶屋も湘南ゴールドエナジーの販売先。「人が少ないので営業活動から納品まで自分でしなくてはいけないんです。大変だなと思う時も有るけど、作り手である自分が直接会って営業、納品をする事にも意味があると思う。実は山頂にはエナジードリンクって置いてないんですよ。搬入の事を考えると大変だし、大手さんは進んでしないと思うんです。だから僕は神奈川県の山小屋にどんどん湘南ゴールドエナジーを置いてもらえるようにしたいと思っています。」確かに。苦労して登り切った山頂で飲む湘南ゴールドエナジーはまた格別だろう。

「神奈川県側の山小屋が見えてきました！もう頂上ですよ。」金時山山頂は神奈川、静岡の両県に跨っており、それぞれに向かい合うように山小屋が2軒たっている。

「すごい！早かったですね。登り66分でしたよ！」いやー、君と私は一回り違うんだよー。ついて行くのに精いっぱいだったよ。（しかも話しながら）山頂につく頃には辺りは一面雪景色。さらに風まで出てきてちょっとした吹雪状態である。頼りにしていた山小屋も2軒とも閉まっている様子。

と、彼は慣れた手つきで山小屋脇のポスト（？）を開けて何やら書き込む。「登山名簿ですよ！閉まっている時は勝手に開けて書いていいんです。」自分の名前の横に登頂回数を書き込む。私、子供の時父と来たんだよね。「じゃ、2回ですね。」

記名を終えると山頂の神社で雪の中彼は熱心にお参りをしていた。何をお願いしたの？「ここに来ると必ずお参りします。もちろん湘南ゴールドエナジーが神奈川県のご当地ドリンクとして定着する事ですが、神奈川県って海が注目されがちだけど身近に山もある。それぞれの良い所を知って楽しんでもらって、その傍らには…湘南ゴールドエナジーかな。」

湘南ゴールドエナジーのキャッチコピーは"黄金の体験を"予想外の天気の為山頂にて、山頂での乾杯は叶わなかったが、白銀の中で黄金の体験を味わう事が出来たように思う。

下山後、ランチをしながら・・・

ご当地ドリンク“湘南ゴールドエナジー”の誕生

そもそも、湘南ゴールドエナジーを作りたいと思ったきっかけは、何だったのだろう。彼のライフワークは旅。2015年には全国47都道府県を全て制覇した。彼は旅する中でコンビニをよく利用するのだが、「旅先のコンビニには、北海道のガラナや、沖縄のルートビアのように、地域性に特化した商品ラインナップを目にすることが多いんです。それらは観光客だけでなく現地の人も普通に手に取る飲料として定着しているんです。

一方で神奈川県のコンビニといえば、東京の品揃えと変わらないし、つまらないんですよね。農協時代に視察で訪れた山梨県で、山梨の名産品である桃を使ったエナジードリンクを目にして、飲んだ瞬間に、これだ!!と思い、すぐに製造元に連絡をしました。」ノウハウを学び、神奈川県が開発した幻のみかん“湘南ゴールド”を使って製品化を進めた。苦労もあったがほどなく完成し、湘南ゴールドエナジーと名付けた。ドリンク缶には、同級生のイラストレーター漆川世文氏デザインの可愛いキャラクターを載せ、手にするお客様の黄金の体験を後押ししている。

「エナジードリンクっていうと日本では頑張る時に飲むもの、っていうイメージじゃないですか？でも外国ではテンションを上げたい時とか、楽しい時に飲む事が多いそうなんです。」

確かに、非常に興味深い違いではある。オーストリア産の某エナジードリンクのキャッチコピー“翼を授ける”だもんね。日本は…なんだろうやっぱり24時間戦えますか、って感じかしら…。「そうです。だから湘南ゴールドエナジーはもっと気軽に、例えばマリンスポーツや登山、ラン、ライブなど思いっきり楽しむ際にいつも隣には湘南ゴールドエナジーがある、というか…。エナジードリンクの概念を変えていきたい。キャッチコピーの“黄金の体験を”はそんなイメージでつけています。」

発信し続ける男

彼の口からは、いくつもやりたい事、夢やアイデアが溢れ出てきて止まることがない。小学生の頃から何かを紹介したり発信する人になりたいという夢があったそうだ。　現在のエナジードリンクの企画販売にとどまらず、ゆるキャラや特産品など地元小田原や神奈川に眠る様々なお宝を発掘させたり復活させたり、また、山カルチャーや農業についても熱く未来のビジョン語り、それらを県外に発信し続けている。

「ベイスターズコラボ缶」
「しらっすーコラボ缶」
「ももクロコラボＴシャツ」

湘南ゴールドエナジーは、ご当地ドリンクの枠を越えて、様々なイベントとのタイアップや、ゆるキャラ、アスリート、アーティストとのコラボも積極的に取り組んでいる。2016年からは湘南ゴールドエナジー主催のランイベントなどを次々に企画。直近では2018年10月に開催されたあしがらロケーションズと共催の小田原初の“ロゲイニング競技大会”第一回あしがらロゲイニングin諏訪の原公園や（ロゲイニングとは地図を元に時間内にチェックポイントを出来るだけ多く周り得点を競う競技。全スポットを回るのは物理的に不可能な為、効率的に回る判断力も求められる。）や、2019年2月の第2回ZUCC×湘南ゴールドエナジー　リレーマラソンなど。

「イベントを企画する際にまずは地元である足柄地域を中心に開催してきました。実績やノウハウも積んできたので、これからは海方面でもイベントを企画していきたい。」

準備は万全。満を持して湘南の金太郎は山から海へ向かう。今後も守屋佑一から目が離せそうにない。

ブーム到来！精進料理で体のなかから綺麗になろう
海辺のキャンプ場 de 精進料理

2018年11月4日（日）11時〜14時
茅ヶ崎柳島キャンプ場

長年精進ライフを送っておられる中薗さつきさんを講師にお迎えして、野菜で作るキーマカレーを教えていただきました。

さつきさんが精進料理を作る際に守っておられるのは、①殺生しない。②五葷（ネギ、ニラ、にんにく、アサツキ、ラッキョウ）を食べない。③お酒を使わない飲まない、ということ。その教えを難しく考えたり、特別なことと捉えず、わたしたちの身近な食材で作れるレシピを教わりました。

開催当日はあいにくの雨模様でしたが、屋根の下で１人ひとりの距離が自然と近寄り、とても良い雰囲気の中で調理が進められました。砂防林の松葉を集め、かまどで火を熾す楽しさがキャンプ場で開催された醍醐味でもありました。

お皿にこんもり盛られたキーマカレーも、畑から摘みたての野菜サラダも、ペロッと完食。デザートのチャイは大鍋で煮出し、甜菜糖の甘さといろんな種類のスパイスで深みのある良い味に。みなさん口々に、「おなか一杯食べたのに、体が軽い」と感想を述べられ、精進料理の素晴らしさを体験しました。

講師の中薗さつきさん、スタッフの皆さんお疲れさまでした！　（かなえ）

美しい湘南の海を楽しもう！
葉山 de クルージング 2018

2018年11月10日（土）15時〜19時
葉山港

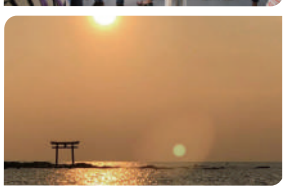
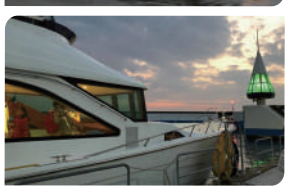
お天気に恵まれたおかげで定員ギリギリの方にご参加いただき、50名弱ボーダー柄の集団（笑）でイベントを満喫しました！

プロセーラーの伊藝徳雄さんにナビゲートしていただき、葉山マリーナでのオリエンテーションのあと、ビール片手に文字通りのサンセットクルージングを楽しみつつ、海から見る湘南を景色と夕日を堪能。

葉山港に会場を移しての第２部では海に模した大きなセール（スピネーカー）で遊んだあと、ワイン、スパークリングジュースで乾杯！

フィン級で五輪を目指す藤村裕二さん、湘南ヘルシスタの田熊ゆいさん、田頭佳子さん、亀井有希さんをゲストに迎えて、オリンピックのセーリング競技について、またそのいろいろな楽しみ方について、トークセッションを行いました。

伊藝さんをはじめ講師のみなさん、スタッフの皆さん、ありがとうございました。　（大塚靖雄）

笑顔いっぱいのホームパーティレシピ教えます
【湘南T-SITE】簡単！誰でも絶対作れる料理！

2018年11月23日（金・祝）11時～13時30分　Shonan T-SITE / 湘南T-SITE

湘南T-SITE「KURA_THINK」にて「湘南VISION大学」授業「簡単！誰でも作れる料理～笑顔いっぱいのホームパーティーレシピ教えます～」を開催しました！ゲスト講師に前回のソーシャルマガジンで表紙を飾っていただいた、よしもと芸人イシバシハザマ の石橋 尊久さんを迎え、楽しい料理教室を開催。「おとう飯」大使の石橋さんが教えるレシピは「だいたい」がキーワード。

「凝った料理よりも簡単にパパッと作った方が手ごたえが良い」という経験を参加者に伝授した場面では、会場から大きな頷きが！「これなら私にもできそう！」そんな声が聞こえてきました。ホームパーティーにぴったりのメニュー3品を作り、みんなでいただきました。授業名の通り、「笑顔いっぱい」の時間を過ごしました。

また、会場となった湘南T-SITE「KURA_THINK」さんでは会場とPanasonicの最新家電を使用させていただきました。ロティサリーグリルを使い作ったローストチキンの味は、「お店の味みたい！」と一同驚愕の美味しさでした。

家電をもっと身近に感じてほしいとの思いから「まちの電気屋さん」を目指して様々なことを展開しているそうです。(筆者も最新の家電を借りるべく会員登録をしました！)

みんなで作って、みんなで食べる、みんなの笑顔があることが最大の隠し味なんですね。

講師の石橋さん、会場や備品の貸し出し、当日運営までお手伝いいただいた「KURA_THINK」の根田店長、参加者のみなさんありがとうございました。（こなつ）

海のある暮らしをもっと楽しもう！ 海の見える農園 de みかん狩り

2018年12月8日土曜日 10:00～12:00　UMEMARU FARM

お天気にも恵まれ、講師の守屋さんより6次産業についての興味深い講義を受けた後青空の下たわわに実ったオレンジ色のみかんを参加者全員で楽しみながら収穫しました。参加者の皆さん同士もみかん狩り体験をきっかけに様々な意見交換を行い、とても有意義な講義になったかと思います。

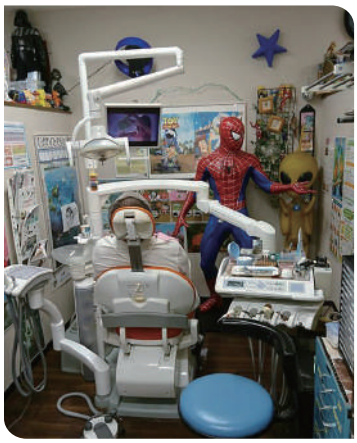
何より海が見える最高のロケーションの中での授業はとても気持ちが良く、心も体もリフレッシュ出来ました。2018年の締めくくりに相応しい笑顔が溢れる会になりました。講師の守屋さん、参加者の皆様誠にありがとうございました！2019年も湘南ビジョン大学をどうぞよろしくお願い致します。（みなつ）

let's have fun!
配布・設置していただける場所を募集しています

AD

藤沢スマイル歯科医院

いたくない！小児歯科から歯周病治療。入れ歯治療まで



スタッフ募集　笑顔あふれる新しい職場

【募集要項】若干名
【交通費】全額支給（車通勤OK!）
【待遇充実!食事代補助】
【設立】2008年
【科】一般、小児、矯正、審美、予防、ホワイトニング、歯周病治療、顎関節治療
【休】完全週休2日制（水、祝、他1日）※祝日週の振替診療なし
【就業時間】（月、火、木、金）10:00〜20:00
（土、日）10:00〜18:00　各日休憩90分
【他】夏季5日　冬季5日

トレアージュ白旗2F医療モール（小田急江ノ島線　藤沢本町から徒歩5分）
無料大型駐車場あり
HP　http://www.fujisawa-smileshika.jp

映画と本とパンの店 シネコヤ CINEKOYA

ここは、昭和に建てられた元写真館「カンダスタジオ」。

この場所は、近所で暮らす地元の人たちにとって、七五三、成人式、結婚記念写真など、家族の記念日に訪れる特別な場所。

そんな場所を引き継いで、今は「シネコヤ」になっています。

シネコヤをオープンしてからというもの、「昔ここで子どもの七五三で写真を撮ったのよ」とか、「結婚式の後ウエディングドレスでここまできて、写真を撮って帰ったんだ」などこの場所での思い出のお話を聞くことが多くありました。

喫茶スペースとなっている1階で、コーヒーを飲みながら、そんなお話を聞きます。

シネコヤをつくるとき「この場所に残る思い出を大事にしたいな」と、当時の写真館の面影、内装をできるだけ活かして残しています。当時を知っている人たちも、シネコヤを訪れたときに残念な気持ちにならないように。

ときどき、初めて来た人へお店ができた経緯などの説明をしている常連さんもいたりして、なんだか温かいなと思います。そんな姿をみると、この場所が新たな思い出をつくりに来る人たちや、地元の人たちとが交わって、コミュニティが自然と醸成されていくような空間になれたらいいなと感じています。

シネコヤをオープンして、もうすぐ2年が経ちます。

その場を受け継いで、この場所が、誰かの特別な場所として記憶のどこかに残りますように。

鵠沼の街の中で、物語ををつなげていきたいと思っています。

◆店舗概要
TEL：0466-33-5393
住所：藤沢市鵠沼海岸3-4-6
営業時間：9:00〜
定休日：木曜
アクセス：鵠沼海岸駅より徒歩3分

SHONAN VISION
Social Magazine
Vol.18
2019.02

PUBLISHER：片山清宏
EDITOR IN CHIEF：片山清宏
ART DIRECTOR：大戸千尋
EDITORIAL STAFF：関水裕子　郷渡美夏　上田佳苗
大塚靖雄　片山清宏　石川小夏
COVER PHOTO：郷渡美夏

web http://shonan-vision.org/
@shonanvision
info@shonan-vision.org